

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 子ども一人一人の発達状況を理解し、保育指針や感覚統合の視点で捉えた保育実践に努める。	(1) ◎	
		(2) 行事後、年度末に保護者にアンケートを実施し、改善できるように努める。	(2) ◎	
		(3) 保育カウンセラーと連携し、気になる子の理解を深め一人一人に合わせた援助を実践する。	(3) ◎	
		(4) 感染症予防と拡大防止対策の実施、並びに食物アレルギーマニュアルの遵守を全職員が実施する。	(4) ◎	終礼時に次の日のアレルギー除去食を確認し、全職員に周知している。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 保育者一人一人が人間性と専門性の向上に努め、研修への参加と職員間での保育の協働性を高める。	(5) ◎	
		(6) 園長連絡会や研修会に参加し、知り得た知識や情報を全職員に周知徹底し共通理解を図る。	(6) ◎	
		(7) 研修開催の情報収集と研修計画を作成し、積極的に研修に取り組める環境作りをする。	(7) ◎	
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 保育士体験や個人懇談、園だよりやクラスだよりを活用して、情報交換や育児に対するアドバイスをを行い、家庭支援を図る。	(8) ○	保育士体験、個人懇談は希望者のみ行ったので、来年度はやり方を検討し、より丁寧な家庭支援につなげたい。
		(9) 特別な配慮を必要とする家庭への理解と支援法を職員間で共有する。	(9) ○	積極的にコミュニケーションを図り寄り添った支援を心掛けたが、難しい面もある。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い、遊びの場の提供をしたり子育て相談に応じ育児不安の解消や軽減につなげたりする。	(10) ◎	感染症のため1回中止。親子で楽しめる内容を考えたり相談に応じたりして家庭支援した。
		(11) チラシを掲示・配布し、地域の子育て家庭の支援充実を図る。	(11) ◎	
		(12) 保育の相談及び援助への知識や、技術向上のための研修に参加する。	(12) ○	家庭支援、保護者支援の研修にできる範囲で参加した。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) こども家庭センターやこども療育センター等の専門機関へ情報を提供し連携する。	(13) ○	こども家庭センターに頻繁に情報を提供し、配慮の必要なお子さんについて連携を図った。
		(14) 地区の子育て支援に関する連絡協議会等に参加し、情報共有を行う。	(14) ◎	
		(15) 継続した支援のため、就学先の小学校や転園先への要録等の送付を行いスムーズな移行へとつなげる。	(15) ◎	要録の送付や聞き取りを行い、継続した支援につなげた。
		(16) 子育て支援に関わる関係機関事業の把握と情報提供を行う。	(16) ◎	子育てに関わるチラシや冊子を設置し、自由に持ち帰りやすい環境を整えた。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の公共施設で開催する行事にできる範囲で参加し、園への理解を深める。	(17) ○	
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域のお年寄りと一緒に畑づくりをし、園児と地域の人たちとの触れ合いの場を持つ。	(18) ◎	
		(19) 自治会、公民館等の行事参加や会議に参加し、園への理解を深めてもらう。	(19) ◎	
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 実習生や小、中学生ボランティアの積極的な受け入れをする。	(20) ◎	実習生や中学生ボランティアを受け入れ、保育士の仕事の魅力ややりがいについて発信した。
		(21) 地区文化祭など地域行事に参加し、地域の人との交流を図る。	(21) ○	地区文化祭に参加し5歳児が踊りを披露した。地域の方と交流する機会になった。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 児童に関する権利条約や個人情報の保護法の遵守、運営規定、重要事項説明書についての共通理解に努める。	(22) ◎	
		(23) 園で取り組んだ研修の内容や課題について成果物を作成し、福井市保育研究合同発表会等で発表する。	(23) ◎	
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) 「福井市の保育所における質の向上のためのアクションプログラム」を作成し、実施する。	(24) ○	今年度の成果を共通理解し、来年度以降につなげていきたい。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。